

施設型給付幼稚園移行セミナー 2026 東京会場での来場型開催！

講演内容

第1講座

園経営における「施設型給付幼稚園」という選択肢

人口減少と保育ニーズ増大が進む中、従来の「私学助成幼稚園」のまま進むべきか、それとも新制度へ移行すべきか、多くの園経営者が決断の岐路に立たされています。本講座では、これまで多く議論されてきた認定こども園だけではなく、「施設型給付幼稚園」という選択肢について、その戦略的価値を経営視点から検討していきます。

株式会社船井総合研究所
こども園・幼稚園チーム
リーダー
遠藤 めぐみ

第2講座

特別ゲスト講演 事例から学ぶ「施設型給付幼稚園移行」

学校法人石渡学園 美しの森幼稚園は、2025年4月に施設型給付幼稚園へ移行しました。セミナー当日は、実際に私学助成幼稚園から施設型給付幼稚園への移行を進められた石渡先生をお招きし、実体験に基づく「移行事例」をお話いただきます。移行を決断した経緯や移行までのプロセス、また「認定こども園移行」を含めた今後の展望についてもお話いただく予定です。

特別ゲスト講師

学校法人石渡学園
園長
石渡 一郎氏

第3講座

「施設型給付幼稚園移行」のポイント徹底解説

「施設型給付幼稚園への移行は検討しているが、実際何がどう変わるのかわからない」という懸念を払拭すべく、移行に際したポイントを徹底解説します。自園にとって施設型給付幼稚園移行がプラスになるのかどうかを見極めるための判断材料を提供します。

株式会社船井総合研究所
こども園・幼稚園チーム
高木 智子

第4講座

永続的な園経営を行うために明日から実践いただきたいこと

本日の総括として、制度変更を単なる「事務的な変更」で終わらせず、これからの時代に選ばれ続ける園になるために、経営者が明日から着手すべき事項をお伝えします。

株式会社船井総合研究所
こども園・幼稚園チーム
リーダー 高橋 勲功

開催日時

2026年2月25日(水)

開催時間：14:00～17:00(受付開始：開始時間30分前～)

申込期限 ・銀行振込み：開催日6日前まで ・クレジットカード：開催日4日前まで

※祝日や連休により変動する場合もございます

金額

一般
価格
(1名様)

税込33,000円(税抜30,000円)

会員
価格
(1名様)

税込26,400円(税抜24,000円)

※ 会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧：FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。
※ 諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。
尚、中止の際、交通費の戻戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。

コンサルタントのご紹介

株式会社船井総合研究所 こども園・幼稚園チーム リーダー 高橋 勲功

一橋大学大学院経済学研究科修了後、株式会社船井総合研究所に入社。大学院在籍中は公共経済学・財政学や行動経済学を専門にする。入社後は在学中で培った調査・分析能力を駆使して、施設型給付幼稚園・認定こども園移行サポートや、園児募集計画策定・実行支援をはじめとする、主に学校法人立の幼稚園や認定こども園への経営全般のコンサルティングに従事している。細やかな数値分析を基にしたコンサルティングスタイルを得意としていて、その精度には定評がある。近年では中期経営計画策定・実行支援のコンサルティングサービスも提供をしている。また、近年では「内部体制強化」のコンサルティングにも幅を広げ、新卒採用/中途採用や評価制度構築に関するコンサルティングを行っている。



株式会社船井総合研究所 こども園・幼稚園チーム リーダー 遠藤 めぐみ

栃木県出身。首都大学東京(現・東京都立大学)で教育学を専攻。大学卒業後、株式会社船井総合研究所に入社。在学中は、教育付き民間学童保育施設の学生スタッフとして、施設の運営に従事し、小学生やその保護者に関わってきた。入社後は、幼稚園や認定こども園、保育園のコンサルティングに従事。認定こども園移行に関するコンサルティングをメインに関わってきた。2022年以降は、特に「園児募集強化」のコンサルティングに注力している。また、近年では「内部体制強化」のコンサルティングにも幅を広げ、新卒採用/中途採用や評価制度構築に関するコンサルティングを行っている。「ひとりの働く女性」として業界を見つめる視点を大切にしつつ、経営者に寄り添い、伴走することを大事にしている。「ひとりの働く女性」として業界を見つめる視点を大切にしつつ、経営者に寄り添い、伴走することを大事にしている。



株式会社船井総合研究所 こども園・幼稚園チーム 高木 智子

北海道大学教育学部を卒業後、株式会社船井総合研究所に入社。在学中は教育福祉を専攻し、社会保障制度・特別支援教育について学びながら、障害のある人の自立について研究を行ってきた。その一方で、特別支援学校の教職課程の履修や教育実習も経験した。入社後は幼稚園・認定こども園の運営安定化の支援や認定こども園移行のサポートを行っている。また施設型給付費の適切な運用のサポート、公定価格の試算ソフトを活用した収支シミュレーションの作成、園児募集強化のための商圏調査・競合調査などを担当している。誰もが良い教育・福祉を受けられる社会を目指しつつ、経営者に寄り添った伴走支援を大切にしている。



お申込みはこちらからお願いいたします！

スマホ・タブレットの方は右記の QR コードを読み込んでいただき Web ページにある申込みフォームよりお申込みいただけます。

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください

お申込み HP URL <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/137412>

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

TEL : 0120-964-000 (平日 9:30 ~ 17:30)

船井総研セミナー事務局 E-mail : seminar271@funaisoken.co.jp

お問い合わせ No. S137412



永続的な園経営のために
「施設型給付幼稚園」
という選択肢の検討を！

施設型給付幼稚園移行セミナー 2026

300名超の
幼稚園も
収支改善の
可能性アリ！

このようなお悩みありませんか？

- ☒ 園舎の構造や職員体制の問題で、認定こども園への移行は難しいものの、現状よりも収入増を図りたい
- ☒ 自治体の判断で認定こども園への移行は認められなくなったが、従来の私学助成幼稚園のままでは経営が厳しい
- ☒ 幼稚園としての教育方針・内容を維持しながら「処遇改善等加算」を取得・運用して安定した園経営を目指したい
- ☒ 実際に施設型給付幼稚園への移行を行った法人の実例を聞きたい
- ☒ 施設型給付幼稚園の制度概要を理解したい



特別ゲスト講師

学校法人石渡学園
園長
石渡 一郎氏

学校法人石渡学園 美しの森幼稚園 園長。神奈川県横浜市青葉区にて、幼稚園1園、認可外保育所1施設、児童発達支援事業所・放課後等デイサービス1事業所を運営。敷地面積約3,000坪におよぶ広大な自然環境の中で子どもたちの豊かな感性を育む教育を実践している。

来場型
セミナー
開催日時

1日限りの開催

2026年2月25日(水)

会場：東京ミッドタウン八重洲

14:00～17:00 (受付開始：開始時間30分前～)

施設型給付幼稚園移行セミナー 2026

お問い合わせ No. S137412

主催



サステナブルグロースカンパニーをもっと。

Funai Soken

株式会社船井総合研究所

〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号

東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー 35 階

当社ホームページからお申込みいただけます。

(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索マークに [お問い合わせNo.] を入力してください)

137412



歴史ある園の教育を守るため 「施設型給付幼稚園」という 選択肢を検討しませんか？

ゲスト法人のご紹介

神奈川県横浜市青葉区に所在する美しい森幼稚園。あざみ野駅から徒歩5分というアクセスの良い立地にありながら、約3,000坪の広大な敷地を有する。森・土手・竹林・畑といった豊かな自然に囲まれた充実の教育環境を活かし、四季折々の体験を通じて子どもたちの感性を育む教育を長年にわたり実践。

また、同敷地内にて児童発達支援事業所・放課後等デイサービスを運営。長年の幼児教育の知見に加え、インクルーシブ教育や地域の子育て支援にも深く尽力している。



美しい森幼稚園が施設型給付幼稚園へ移行するまで

2024年4月	■ 利用定員別 収支シミュレーションの作成	
2024年5月	■ 保護者負担額(特定負担・実費徴収)の設定	
2024年6月	■ 自治体との協議	
2024年9月	■ 重要事項説明書・運営規定の作成	■ 在園児保護者向け説明会の実施
2024年10月	■ 移行に関する申請書類の提出	
2024年11月	■ 利用定員決定	
2024年12月	■ 処遇改善等加算の運用方針検討	
2025年2月	■ 在園児保護者への重要事項説明	
2025年3月	■ 処遇改善等加算の配分計画策定	
2025年4月	■ 施設型給付幼稚園へ移行	
2027年4月	■ 幼保連携型認定こども園として開園(予定)	

施設型給付幼稚園の移行に関する“よくあるご質問”

Q 01 幼稚園の教育・保育内容に制約はありますか？

A 原則として、教育・保育内容に制約がかかることはありません。これまで通り、各園の理念・方針に基づいた独自の教育活動を継続いただけます。

Q 02 職員の給与に制約はありますか？

A こちらも原則として園独自の給与体系を維持いただけます。ただし「処遇改善等加算」を活用する場合は、加算額を確実に職員へ配分するなど、国の定める算定ルールに沿った適切な運用が求められます。

Q 03 園児募集の方法は変わりますか？

A 変わりません。引き続き「1号認定」のお子様を対象となります。園が主体となって募集・選考を行い、保護者と園の間で直接入園の約束を結ぶ形も従来通りです。

Q 04 教育時間が変わることはありますか？

A 原則、変更はありません。現行通りの教育時間で運営いただけます。

Q 05 では、一体何が変わるのですか？

A 大きな変更点は「収入の仕組み」と「事務手続き」です。収入は「施設型給付費」へ移行します。あわせて「処遇改善等加算」の制度も取り入れられるようになります。これに伴い、給付費を毎月申請する事務手続きが発生します。別の変更点として「保育料」が挙げられます。施設型給付幼稚園は制度上「保育料無償(0円)」の表記となります。そのため、実費徴収項目など、保護者へ提示する料金表の記載方法について見直しが必要となります。

Q 06 施設型給付幼稚園へ移行すれば、必ず経営状況は改善しますか？

A 「必ず改善する」と断言できるものではありません。施設型給付費は利用定員や園児数・職員数によって収入が変動するため、適切な定員設定や継続的な園児募集/採用活動/人材育成といった努力が不可欠です。これまで小規模園が施設型給付幼稚園へ移行すると収支改善のインパクトが大きいと言われてきましたが、300名を超える幼稚園であっても移行に伴い収支改善をしている事例がございます。各園の状況に応じたシミュレーションを行い、計画的な移行検討をおすすめいたします。

《セミナー参加者特典》 個別相談会



セミナー参加者様限定で、施設型給付幼稚園への移行に関する個別相談会を実施いたします。このようなお悩み・疑問を解消いたします。

「今の職員体制で移行に対応できるだろうか？」

「制度が複雑で移行すべきか判断に迷っている」

「事務手続きの具体的な流れや負担を知りたい」

「自園が移行した場合の収支シミュレーションはどうすればいい？」

担当コンサルタントが貴園の状況に合わせ、疑問やご不安にお答えします。

※1法人様につき60分間、無料で実施させていただきます

